

平成19年7月30日
山 口 県

病虫害名 水稻のコブノメイガ

1 発生地域 県内全域（8月中旬～9月に収穫するほ場）

2 発生時期 成虫最盛期 8月 6日～10日
若令幼虫最盛期 8月13日～17日

3 発生程度 多

4 注意報発令の根拠

- (1) 7月25日～27日の巡回調査では、平年に比べて発生ほ場率は1.8倍、被害株率は5.2倍、被害葉率は13.0倍であった（表）。
- (2) 本年の成虫最盛期は8月上旬であるため、収量に大きく影響する止め葉や第2葉の被害が多発生すると推定される（収穫期に上位3葉の被害葉率が約25%以上になると5%以上減収する）。

5 防除方法

(1) 防除時期

8月6日～10日に払い出しを行い、5頭/m²以上いれば8月13日～17日（若令幼虫最盛期、図参照）に薬剤散布を行う。

※本年は発生時期が短期間に集中しているため、防除適期をのがすと効果が劣る。

(2) 防除薬剤

防除薬剤は、平成19年山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準による。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 葉色の濃いほ場は被害を受けやすいので、ほ場の成虫発生量をよく観察する。
- (2) 薬剤防除で粒剤を使用する場合の散布適期は8月6日～10日なので、遅れないようにする。
- (3) 収穫後のイネには産卵が少ないため、8月上旬までに出穂したほ場ではコブノメイガ対象の防除は必要ない。
- (4) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、安全使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。

表 7月25日～27日におけるコブノメイガの巡回調査結果 (%)

調査項目	本年	平年	平成15年(多発年)
発生ほ場率	98.8	54.5	93.0
被害株率	68.0	13.0	33.8
被害葉率	10.4	0.8	2.2

注) 被害葉率は上位2葉の調査結果。

JPP-NET病害虫発生予測システム

飛来日	7月8月							9月		
	1	5	10	15	20	25	1	5	10	
コブノメイガ										
○ 6月30日	++++AAAA	----	@@@@	oooo	oooo	oooo	++++	AAAA	----	
☆◎ 7月3日	+++++	AAAA	----	@@@o	oo	oooo	++++	AAAA	----	
☆◎ 7月4日	o+++++	AAAA	----	@@@o	oo	oooo	++++	AAAA	----	
☆◎ 7月5日	oo+++++	AAAA	----	@@@o	oo	oooo	o+++++	AAAA	----	
○ 7月10日	oooooo	+++++	AAAA	----	@@@@	oooo	oooo	+++++	AAAA	

予測日 2007年 7月 29日

凡例	A: 成虫	-: 卵	o: 幼虫	+: 蛹	@: 防除適期		
☆	主要な飛来	◎	多飛来	○	並飛来	△	少飛来

成虫最盛期
防除適期

図 コブノメイガの防除適期予測図